

さらさらなる発展をめざす骨太企業

成年を駆けける 事業戦略と06年の目標を聞く

経営環境は。

「自動車関連向けが依然好調だ。パーツハンドリング機器といった搬送機器などの受注量は例年比で20-30%増と高水準で推移している。当面は自動車産業の活況が続くと見えており、動向をきっちりキャッチしていきたい。半導体産業などエレクトロニクス関連はそろそろ好調が戻ってくる」と期待している。

生産革新に役立つ機器開発

「夢工場」から世界へ提案

「『基礎固め』をキーワードに、生産革新に役立つ機器を開発し続け、提供していくという当社では不変の方針で挑む。生産現場の革新に向け製品単体だけでなく、システムとして提案し、どこまで顧客には訴えていく。」



NKE 社長

中村道一氏

「『売れる速さでモノを作り、作る速さでモノを売る』をコンセプトにしたモノづくりの実現を」

「『売れる速さでモノを作り、作る速さでモノを売る』をコンセプトにしたモノづくりの実現を」

05年を振り返って。

「05年度の受注総額は1兆3500億円ぐらいいなると見られる。人員削減、製品価格が安くなっている現状からすれば、(生産)ボリュームは過去最高になるのではなか。大手自動車メーカーが増産計画を前倒したため、部品メーカーの設備投資が活発化している。わが社のホブ盤もけも今は長く待たせられない。景気動向をにらみ、早く設備を入れたいというニーズが強まっている。」

受注即応体制に努力

次世代加工機の開発推進

「『あつという間だった』が、責任の重さを感じない日はなかった。06年は創業40周年を迎える8年に向けた3カ年計画の最初の年だ。カスタマーサービス、開発や営業体制の再編、技能継承、知財戦略などをさまざまな手打って、いい形で創業40周年に近づけるのが当面の課題だ。」



カシフジ社長

榎藤達郎氏

「『ユーザーは能力2倍で価格、設置スペース2分の1の加工機を求めている。ホブ盤は自動車のトランスミッションの生産に使われるが、この分野は設備投資の割に製品単価が安いといった悩みがある。こうしたニーズに応えるため、次の開発を進めている。」

「『ユーザーは能力2倍で価格、設置スペース2分の1の加工機を求めている。ホブ盤は自動車のトランスミッションの生産に使われるが、この分野は設備投資の割に製品単価が安いといった悩みがある。こうしたニーズに応えるため、次の開発を進めている。」

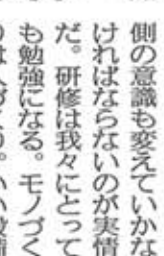
造船業界は活況を呈している。日本造船工業会

「造船業界は活況を呈している。日本造船工業会によると、世界の新造船受注量は03年に世界6200万トンを迎えた。04年も世界5000万トンを迎えた。この傾向は05年も続いている。石油ショックによる不況や業界再編という荒波を乗り越えて得た活況だろう。」

水・重油混合燃焼装置を開発

環境、燃費削減に貢献

「若い技術者との考え方の違いが確実にある。昔は技術は盗むものだったが、今は教える側が教える側に進まない。しかも機械の構成が変わり、生産も現代風に変わってきている。教える側は、技術教育は加速しなければならない。研修は我々にとっても勉強になる。モノづくりは人づくり。いい設備を入れても人が使わない」ということを忘れてはならない。」



サンプレム社長

田中靖生氏

「『ユーザーは能力2倍で価格、設置スペース2分の1の加工機を求めている。ホブ盤は自動車のトランスミッションの生産に使われるが、この分野は設備投資の割に製品単価が安いといった悩みがある。こうしたニーズに応えるため、次の開発を進めている。」

「『ユーザーは能力2倍で価格、設置スペース2分の1の加工機を求めている。ホブ盤は自動車のトランスミッションの生産に使われるが、この分野は設備投資の割に製品単価が安いといった悩みがある。こうしたニーズに応えるため、次の開発を進めている。」



サンプレム

環境は大きなテーマだ。電気推進システムで二酸化炭素(CO2)排出を抑制するスーパーエ

「環境は大きなテーマだ。電気推進システムで二酸化炭素(CO2)排出を抑制するスーパーエ」

「環境は大きなテーマだ。電気推進システムで二酸化炭素(CO2)排出を抑制するスーパーエ」

「環境は大きなテーマだ。電気推進システムで二酸化炭素(CO2)排出を抑制するスーパーエ」

「環境は大きなテーマだ。電気推進システムで二酸化炭素(CO2)排出を抑制するスーパーエ」

「環境は大きなテーマだ。電気推進システムで二酸化炭素(CO2)排出を抑制するスーパーエ」